

No.119

緑の子

発行
編集

鎌ヶ谷市青少年センター

☎273-0101

鎌ヶ谷市富岡1-1-1

(三橋記念館3階)

☎047-445-4393



子どもを思い出してください。
「何が一番いやだったか」
それをしないようにすることが大切!

自分に自信を持つ子どもの育成と家庭・学校・地域の連携

少年の心を忘れない

石田 修一氏

平成二十二年二月四日(水)午後二時から中央公民館で、
第三回青少年補導員研修会を行いました。

— 受講して学んだこと感じたこと —

こころをこめて

パトロール中に出あった子ども達との心をこめたコミュニケーションのとり方、かける声の大小、長短、高低、音色、アクセントで伝わり方が違うことを改めて考えさせていただきました。

岩井喜和子

子どもの将来の決め方

我が家に高校二年生の息子がおり、進路の事などちょうどタイムリーな話題で大変参考になりました。

武藤 健史

地域社会とのかわり

石田先生の教員経験から話された幅広い内容から印象に残る言葉、補導活動に通ずるものがありました。講話が聞けてよかったです。

心をこめる・・・相手の目線になって気配りできること。自分本位では結果はでない。

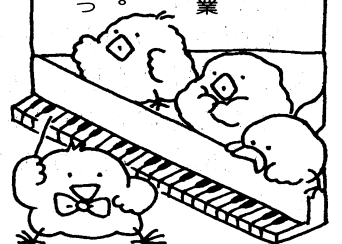
地域の連携・・・地域の子どもは地域で育てる精神が低下している。地域の連携が必要である。

ありがとう・感謝の気持ち・・・親、大人が一番気に留めておかなければいけない基本的なことを再確認できました。

植村 彰

プロフィール

昭和29年札幌生まれ、鎌ヶ谷中学校卒業
大阪芸術大学芸術部音楽学科卒業
昭和53年柏市立柏高等学校に音楽科
教諭として赴任。吹奏楽部を創立する。
現在、年間60回を超える演奏活動を行っている。



感謝のこころ

我が子も含め、子ども達とどのように接していくのか、その子と気持ちを通わせていく言葉を学ぶことができました。大人になっても「ありがとう」と言われるとうれしいものです。「ありがとう」の一言で心がなごみ、うれしい気持ちになるのなら、小さな事にも自分から「ありがとう」の言葉を投げかけてみたいと思いました。

原島 生子

頭のよい子が育つ家

本音の講義ありがとうございました。子どもは好きな事を全力投球させ夢にさせる。小さな時から我慢することを考える。子どもは親の背中を見て育つは、今も通用すると思えました。

高宮 悦子



11月11日(火) 研修会(筑波愛児園視察)

青少年補導員連絡協議会活動

(10月~3月)

- 10/15 松戸市との隣接地域補導関係者連絡会
- 29 県下一斉広域列車補導
- 11/11 第2回青少年補導員研修会
(茨城県・筑波愛児園視察)
- 18 第2回東葛ブロック研修会
- 12/17 第3回市内一斉補導・ピンクビラ撤去調査
- 1/28 船橋市との隣接地域補導関係者連絡会
- 2/4 第3回青少年補導員研修会
- 3/11 第4回市内一斉補導・ピンクビラ撤去調査

★視察研修を終えて

渡邊みどり

11月11日(火)、研修部視察研修で「筑波愛児園」にセンター職員を含め26名で行って来ました。

つくば市にありますが、東京都の養護施設で茨城県の子どもはいません。2~18歳の親と一緒に暮らせない子どもたちが地元の学校に通いながら共同生活をしています。

原因は身体的・心理的ネグレクト(養育放棄)などの虐待が8割です。

複合的な原因がほとんどなので、心理療法・家庭支援・個別対応・自立支援などの専門の職員に見守られ、できるだけ早期に家庭復帰できるよう、また一人で生活していけるように取り組んでいます。

全国で3万人の子どもたちがこうした施設で暮らしているそうですが、同じような家庭環境にあっても入園できないでいる子どもたちが、4万人もいると聞いて親としての責任の重さと、こういう状況はこれからも増えていくのかと考えると不安になりました。子どもの人権について改めて考えさせられる1日となりました。

★隣接地域補導

1月28日(水)、船橋市との隣接地域補導関係者連絡会を開催し、新鎌ヶ谷駅周辺の合同補導と情報交換を行いました。(鎌ヶ谷市10名、船橋市14名が参加)

駅頭や二つの大型店舗を中心に行った街頭補導では、市外の子どもたちに声かけする機会もあり、子どもたちの行動範囲の広まる中、隣接する地域との連携が今後ますます重要になると再認識しました。

★県下一斉広域列車補導

10月29日(水)、青少年センターや警察関係の方々と一緒に、市内を走る鉄道三路線について、電車内や駅構内を中心とした補導を実施しました。

数年前と比べて、どの路線も全体的に落ち着いた様子でしたが、車内でアイスクリームを食べていたり、通路の中央にバッグを置いた高校生などを指導しました。

また、車内での携帯電話の通話が2件、優先席での携帯の使用(メール等)が目立ち、こちらをあわせて指導、声かけを行いました。

そのあと、情報交換会が行われ、各班の補導の様子などが報告されました。



1月28日(水) 船橋市との合同補導活動

◆子ども安全メール(10月～2月)

配信件数 9件

声かけ 4件 露出 3件
つきまとい 1件 安全注意 1件

～子ども安全メール登録のご案内～

(1) 下記のアドレスへ空メールを送ります。

仮登録用アドレス kama.kodomo@mpme.jp

※QRコード対応の携帯
電話はこちらから→
(条件によっては、正確に
読み込めない場合があります。)



(2) 本登録案内のメールが届くので、メール
に記載されたURL上で必要事項を入力し
ます。

(3) 「登録完了」のメールが届いたら完了です。

◎鎌ヶ谷警察署に検挙された少年犯罪

(平成20年1月～12月)

窃				盗			
罪種別	男	女	計	罪種別	男	女	計
忍び込み	1		1	粗暴犯	強盗	1	1
学校荒らし	1		1	粗暴犯	傷害	13	13
自動車盗	1		1	その他	占有離脱物横領	11	2
オートバイ盗	4		4	その他	住居侵入	10	6
自転車盗	7	5	12	その他	盗品等譲受	1	1
部品ねらい	6		6	その他	器物損害	5	5
自販機ねらい	2	2	4	合計		82	25
万引き	18	10	28				107
職場ねらい	1		1				

※鎌ヶ谷市内居住の少年は70人
(男56人、女14人)

◆街頭補導 (10月～2月)

	小学生	中学生	高校生	有職少年	無職少年	合計
自転車二人乗り	2	28	50	2		82
自転車無灯火	11	3	7			21
危険箇所に入入り・遊び						0
たむろ		13		2	4	19
喫煙		2	2	9	6	19
怠学	1	5	5			11
その他	1	2				3
合計	15	53	64	13	10	155

◆補導実施状況(10月～2月)

補導別	補導回数
計画補導	49
夜間補導	0
随時補導	83
行事特別補導	5
市内一斉補導	1
列車補導	1
早朝特別補導	0
隣接補導	2
合計	141

※青少年センターの補導活動とは別に、
毎月各中学校区単位(班)で独自に
青少年補導員の方々が、パトロール
を実施しています。

◆少年相談 (10月～2月)

相談件数 61件

非行 15件 進路・進学 3件
交友関係 1件 不登校 24件
その他 14件 養育 4件

○相談に関する秘密は守られます。

相談日 月～金 9時～16時

○来所による相談も受付けています。

○青少年センター

鎌ヶ谷市富岡1-1-1 三橋記念館3階

電話 445-4307



家庭における非行防止のポイント

- ※子どもの身の回り、行動に注意を払おう。
- ※親は身近なおとなの見本です「模範」を示そう。
- ※子どもに積極的に話しかけ、親の立場で聞き、子の立場になって話そう。
- ※やっぴいことと、悪いことのけじめを繰り返して教え、行動に責任をもたせよう。
- ※子どもがやる気を起こす無理のない目標を持たせガンバりに暖かい言葉で励まそう。
- ※ほめることは、子どもにやる気と励みをあたえ、頭ごなしや、感情的な叱り方は逆効果です。

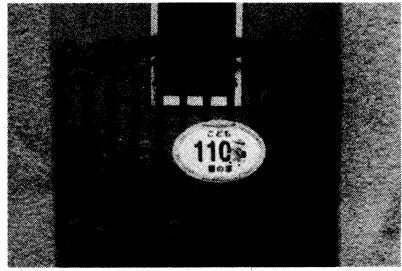
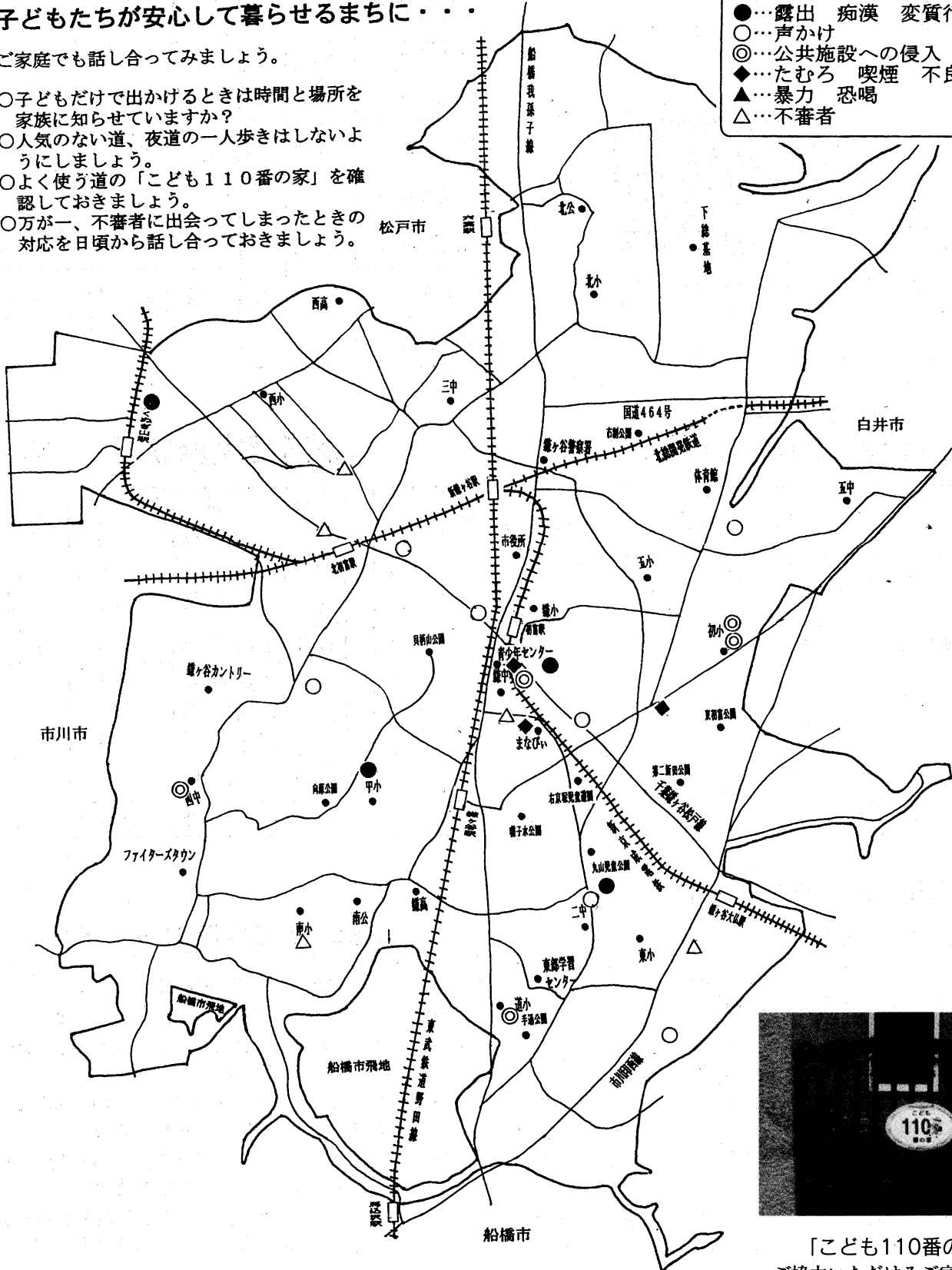
平成20年度 子ども防犯マップ (10月～2月)

子どもたちが安心して暮らせるまちに・・・

ご家庭でも話し合ってみましょう。

- 子どもだけで出かけるときは時間と場所を家族に知らせていますか？
- 人気のない道、夜道の一人歩きはしないようにしましょう。
- よく使う道の「こども110番の家」を確認しておきましょう。
- 万が一、不審者に出会ってしまったときの対応を日頃から話し合っておきましょう。

- ・・・露出 痴漢 変質行為
- ・・・声かけ
- ◎・・・公共施設への侵入 器物損壊
- ◆・・・たむろ 喫煙 不良行為
- ▲・・・暴力 恐喝
- △・・・不審者



「こども110番の家」
ご協力いただけるご家庭や商店
事業所等を募集しています。
※「子ども安全メール」の登録
方法は (3) 面を参照下さい。